NEWS RELEASE

2026 年 11 月 5 日

スズキ、2027 年度の会社カレンダーを見直し

～自動車産業全体の働き方改革に向け、月曜日の祝日を一部休日化～

スズキ株式会社は、労使での話し合いを経て、2027 年度の会社カレンダーを見直すことを決定しました。

自動車産業は、完成車メーカーのみならず、部品、物流をはじめとする幅広い関連産業によって支えられています。こうした産業全体で円滑かつ安定した事業活動を行うため、各社が一定の協調を図りながら稼働日を設定してきました。

一方、働き方や暮らし方の多様化など、自動車産業を取り巻く環境は変化しています。一般社団法人日本自動車工業会（以下、自工会）では、産業全体の生産性向上と働き方改革を進める観点から、自動車産業のカレンダーのあり方について見直しを進めています。

スズキもこの考え方に基づき、2027 年度の会社カレンダーでは、ゴールデンウィーク期間中の平日の一部を稼働日とする一方、これまで稼働日としていた月曜日の祝日の一部を休日とします。

また、完全週休 2 日制を維持するとともに、夏季および年末年始には従来通り長期連休を設定します。

スズキは、従業員一人ひとりが、仕事と家庭、地域活動、自己啓発などを両立し、それぞれのライフスタイルに応じた働き方を実現できることが、従業員の個の成長のみならず、企業、自動車産業、日本経済の持続的な成長につながると考えています。今後も、自工会や自動車産業に携わる皆様と連携しながら、自動車産業全体の生産性向上と働きやすい環境づくりの両立に取り組んでまいります。

● 2027 年度会社カレンダーの概要

月曜日の祝日	7 月 19 日、9 月 20 日、10 月 11 日、1 月 10 日を休日化
ゴールデンウィーク	期間中の平日の一部を稼働日に設定
夏季・年末年始	長期連休を設定
完全週休 2 日制	維持

以上